



風の子

糸魚川市立木浦小学校

学校だより No.8

令和2年7月9日発行



ふるさとクリーン活動 鬼伏海岸 6月26日

活動を始める前、子供たちに次のような話をしました。

「今、プラスチックごみが世界中で問題になっています。海に浮かんだレジ袋をウミガメがえさのクラゲと間違えて食べ、死んでしまうのです。足下を見てください。たくさんの小さなプラスチックごみが石の間にあるでしょう。」

雨が降りしきる鬼伏海岸に、雨がっぱを身にまとった子供たちが袋を手に、海の生き物を守ろう、ふるさとの海岸をきれいにしよう、と繰り出していきました。ここは、世界の海岸から見れば、ほんの狭いところではありますが、この日の活動の意義を理解した子供たちには、時折激しく降る雨は関係ありませんでした。

閉会式では、雨の中でも頑張った子供たちに、鬼伏の区長さんからお褒めの言葉をいただきました。子供たちの心が一回り成長した感じがしました。

雨だから、中止？

学校行事は、「雨天＝中止」というイメージがあります。もちろん、危険防止、体調管理面からも雨の中での活動は避けなければならない場合もあります。職員も晴れることを前提に計画を立てる傾向があります。そのため、

「今日は雨だから中止ですよ。えっ、やるんですか？」

という反応。普段、子供たちは雨の日でも雨がっぱを着て歩いて登校します。この日は、事前に雨でもごみ拾いは頑張ろうと話しました。「雨なんかに負けないぞ」という気持ちで、クリーン活動への意欲をより一層高めたのでしょう。雨もありふれた天候の一つ。時には、「雨でもできる」という判断も必要だと考えます。

磯部小学校との交流 1・2年生 7月1日



1・2年生が磯部小学校と交流しました。2年生は昨年も互いに行き来し友達になったので、久々の再会になりました。交流が初めての1年生も、はきはきと自己紹介をすることができました。

磯部小の1・2年生は11人。生活科でヒツジを3頭飼っていて、劇を交えて一生懸命に紹介してくれました。その後、外に出て実際にヒツジたちと触れ合いました。

2学期には、当校に招いて交流する予定です。

木浦川調査 3・4年生 7月3日



3・4年生は、能生内水面漁業協同組合の協力をいただき、木浦川の生き物調査をしました。

子供たちは胴長靴に履き替えて、公民館から下流側に向かいました。アユやウグイは泳ぎが速くてタモでは捕れません。漁協の方の投網で捕っていただき観察しました。

箱眼鏡で川底をよく見ると小さなヨシノボリがたくさんいました。ほかにめずらしいアユカケも確認できました。いつまでも大切にしたいふるさとの清流だと思いました。

地引き網の話 5・6年生 6月24日



5・6年生は、総合学習で木浦の歴史を調べています。校歌に「木浦鯛」が歌われているように、以前は木浦の海岸で地引き網が行われていたことを知り、経験がある地域の方3名を招いて、当時のお話をうかがいました。

網からあふれるばかりに魚が捕れている大漁の写真があり、豊かな海だったことに驚きました。学習成果は、新聞等にまとめて発表する予定です。

この度、「首都圏このうら会」が解散することになり、4万円を御寄付いただきました。心からお礼申し上げます。

会の解散については残念なことではあります。当校の教育活動に役立ててほしいという会員の皆様の御意向に沿うよう、大切にさせていただきます。ありがとうございます。

故郷から離れたところにお住まいの皆様から、今もなお大切に思われている木浦小学校を誇りに思います。

夏休みについて

新型コロナウイルス対応で、近隣市では夏休みが短縮されるという報道がありますが、糸魚川市では短縮しません。

当校の夏休みは
7月23日から8月26日まで
です。